🎬 第2話：お風呂と鏡とバレそうな夜（セリフ台本）

🎞️【オープニングナレーション】

🎙️ナレーション： 「黒雪姫の秘密。それは、誰にも言えない吸血鬼――。 でも、今回は……ちょっとピンチかも？」

🎞️【シーンA：お風呂騒動】

🧍ノーテンキ（陽気に） 「姫さまも一緒にお風呂行きましょうよ～！裸の付き合いっすよ～！」

🧛‍♀️黒雪（慌てつつ笑顔） 「あ、あたし……湯気、体質的にダメなの♡」

🧍病弱（小声・疑いの目） 「……湯気がダメって、初めて聞いたな……」

🧍ノーテンキ（深く考えず） 「えっ！？湯気アレルギー！？つらっ！おれ泣きそう……」

🎞️【シーンB：鏡問題】

（黒雪がドレッサーの前で髪をといている → 鏡に映っていない）

🧍病弱（不思議そうに） 「姫さま……その鏡、壊れてます？」

🧛‍♀️黒雪（焦りながらニッコリ） 「あら♡私は“心の鏡”で自分を見るの♡」

🧍ノーテンキ（涙ぐむ） 「し、心が綺麗すぎて……映らないんすね……！！」

🧍病弱（ぽそっと） 「（いや、どっちかというと映らないのヤバくない？）」

🎞️【シーンC：薬売りの疑念】

薬売り（やや怪しげに） 「最近、この村で貧血が多くてな……怪しい者はいないかね？」

🧛‍♀️黒雪（満面の営業スマイル） 「あら♪みんな健康ですよ～♡特に首筋が♡（ボソ）」

🧍たち（爆笑） 「姫さまジョークうまい～！」

🧛‍♀️黒雪（小声で） 「（本気なんだけど…）」

🎞️【シーンD：日記帳と気づかない病弱】

（病弱が部屋で黒雪のノートを拾う）

🧍病弱： 「『献血記録：村No.33〜40』……これ、オシャレな名前だな」

🎞️【ラストセリフ】

🧛‍♀️黒雪（カメラ目線でウィンク） 「秘密を守るコツ？ “気づかれなければ”、ってだけよ♡」